

Rotary Yachiyo



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

今回例会行事

テーマ：次年度委員会

担当：次年度会長・幹事

次回例会 5月13日

テーマ：技能実習生について

担当：青少年奉仕委員会

卓話者：谷田貝 彰会員

◆◆◆◆第2651例会◆◆◆◆

司会 田村 隆治

「我らの生業」

会長挨拶

会長 江頭泰利

皆さんこんにちは

日本では桜の満開を過ぎ、色々な花が咲き誇る1年でも一番いい時期を迎えています。ロシアとウクライナの戦争は、ウクライナの民間人にも相当な犠牲が出ており、泥沼化しております。ウクライナの支援のために、理事会で5万円の寄付を決議しました。また八千代市ウクライナ支援事業実行委員会主催、八千代市と公益財団法人八千代市地域振興財団の共催で映画「ひまわり」の上映会を実施される予定で、上映会の収益全額をウクライナの人道支援に寄付されるそうです。私もQRコードで事前申し込みを致しました。ウクライナでは戦争により、深刻な人道的影響が出ています。国連によると350万人以上(その大半は女性と子ども)が近隣諸国とヨーロッパ全域に避難しウクライナ国内の避難民も約700万人に上っています。難民に食糧、水、医療、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。

ロータリー財団がウクライナでの救援活動のための寄付の窓口を設置。ご寄付をお願いいたします。ロータリー財団は、ロータリー地区が実施している救援活動を支えるために世界中のロータリー

2021-22年度国際ロータリーテーマ

「奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために」

2021-22年度クラブテーマ

「立ち向かおう！」

ロータリアンの総意を結集して」

週報 第2652回

2022年4月22日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

会員や一般の方々が寄付することができる正式な窓口を設置しました。財団は、その主な窓口として災害救援基金を指定しました。現在までに880万ドル(およそ11億円)以上のご寄付がこの基金に寄せられています。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース「ハイライトよねやま」265号(2022.4.13発行)に次のような記事がありました。ウクライナ出身の米山学友はこれまでに12人。そのうちの1人、『ロータリーの友』2021年2月号の「よねやまだより」に掲載されたテチアナ・セゾネンコさん(2017-19/大阪城南RC)の近況を紹介しています。『戦争勃発後、それまで製剤化学者として農作物のための薬剤を開発する日々を送っていたテチアナさんの生活は一変。祖国のために何かできることを…と考えた彼女は志願してボランティア団体に入り、最も弱い立場にいる赤ちゃんのオムツや粉ミルク、衛生用品、食料、飲料水、ペットフードなどの生活必需品を送る活動を始めました。時には足りない薬を探しに奔走し自費で購入することも。文字通り昼夜を問わずに奮闘する日々を送っています。彼女の世話クラブである大阪城南RCも、会員や米山学友から寄せられた義援金を送金したということです。テチアナさんは次のように語りました。「ロータリーの皆さんからのお金は難民の支援に充てています。私は首都キーウ(キエフ)から80kmほど離れた所にいて、破壊された町から逃げてきた人々の手助けをしています。一番の願いは小さな子ども達が普通の生活を送れる日々を取り戻す事です。私の心はウクライナとともにあります。

す。一日でも早く明るい日が来てほしい。ウクライナから希望をこめて」ということです。』皆さんと共に、ウクライナの支援に尽力しましょう。

幹事報告

幹事 鈴木利雄

この度は父の葬儀に際しお忙しい中、またコロナ禍にも関らず、お心遣い頂き、ありがとうございました。

5/20(金)の例会は 5/19(木)に変更となります。場所はウイッシュトンホテルユーカリで、12:30 点鐘です。

委員会報告

副幹事

中村賢治

次年度の委員会編成表を配布しましたので、ご確認下さい。次週は次年度の委員会ごとに集まって頂き、基本方針と活動計画について話し合いをお願い致します。

表彰

米山功労者

第1回 菊川秀明会員

お祝い

本人誕生日：及川昭男会員

結婚記念日：齊藤昌宏会員・小村昌三会員

佐野忠信会員・寺沢一三会員

田村隆治会員・齋藤敏夫会員

夫人誕生日：中村真理様

例会行事

社会奉仕委員会 委員長 佐久間勇治

本日は橋本会員より、災害時パートナーシップ協定についてお話しして頂きます。よろしくお願ひ致します。

テーマ：災害時パートナーシップ協定の提案

卓話者 橋本幹雄会員



本来はもっと早く皆さんにご提案したかったのですが、コロナ禍という事で例会が休会

になりましたので、急遽本日クラブ広報委員会にお願いして担当を変わって頂きました。本日は下記4点についてお話し、今年度(6月中)には締結に至りたいと思っています。

1. 提案の経緯
2. 理事会の際に頂いた質問について
3. 防災計画とはどういうものか
4. ロータリークラブとの関連

1. 提案の経緯

今年度社会奉仕委員会になった時に、佐久間委員長から、前年度を踏襲するだけではなく、我々が実際に汗を流す事はできないだろうか、と提案がありました。

八千代 RC は創立 53 年となり、私は入会して 26 年経ちました。約半分の期間在籍している事になりますが、その間ロータリーとして福祉に対してどういう事をするか、社会に還元する行動は何をしたかと考えると、何かをしようとする時、自分たちの持っている力ではなく、違うものでしようとして常に既存のものに頼って、八千代 RC オリジナルの提言はなかったと思います。最近 2 回ほど大きな地震がありました。災害は喫緊の問題になっています。ロータリーとしてどう対処できるかを考えてはどうかと思い、社会福祉協議会の「災害時パートナーシップ協定」の提案を致しました。

2. 理事会で社会福祉協議会とは？との質問があつたそうですので説明を致します。社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。昭和 26 年に制定された社会福祉事業法(現在の「社会福祉法」)に基づき設置されており、それぞれの都道府県、市区町村で、地域に暮らす皆様のほか、民生委員・児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が住み慣れた街で安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざした様々な活動を行っています。八千代市では市役所の横にあり、櫻井会員は理事長として長年にわたり尽力され国からも表彰されています。八千代の社会福祉協議会は支会が 21 か所あります。この中に民生委員や福祉関係、看護、地元の方が集まり地域をよりよくするために何をすればいいのかを考えています。支会の運営を社会福祉協議会が援助しています。

3. 防災計画とはどういうものか

地球温暖化による台風(大雨)の被害、地震が大きなものです。1995 年 1 月に阪神淡路大震災、2011 年に東日本大震災があり、その結果防災についてもっと考えなければならないという機運が高まりました。八千代青年会議所の皆さんのが大規模災害の被災地へ応援に行った際の経験を基に八千代市でも貢献する事が出来ないかと、社会福祉

協議会に相談がありました。それにより、意見が合致し社会福祉協議会で2015年に災害時の支援についての基本が出来上がったそうです。

災害には、自然災害と人的災害(戦争)のふたつがあると思います。主に自然災害が起きた時にどの様に対処するかという事と、起きるまでにどう準備するかを考えますと、例えば、八千代市では台風や地震の被害が起きた時は、行政(八千代市長)が本部長となって災害本部を立ち上げます。復興、救助は市が主体となって事業団体に要請して行います。八千代市危機管理課があり、地区防災計画を作っています。この中には、公共的な団体で、その他防災上重要な施設の管理者を指定していて、建設業協会、観光協会、トラック協会、社会福祉協議会などが指定されています。市では有事の際には各団体に要請して、人員の派遣などの対応を行います。社会福祉協議会では、地震や台風の後の瓦礫の処理・運搬などの危険が伴わないものについて、ボランティアを募集、派遣します。あくまでもボランティア(無償)という事になります。行政では市が中心となり、民間では、基本的には八千代市社会福祉協議会が中心になるという二本立てといえるでしょう。八千代市では大きな災害は起いていませんので、具体的な実績はありませんが、2019年の台風では千葉県が相当な被害を受け、佐倉市では鹿島川の氾濫、屋根瓦が飛んでしまったという被害がありました。八千代では鋸南町へ社会福祉協議会の職員を派遣しましたが、現地職員も初めての事で、どうしてよいかわからない状態でした。そういう事で踏まえて、災害時パートナーシップ協定が出来上がりました。

4. ロータリークラブとの関連

八千代市で活動しているラグビーチーム「BIG BLUES」は八千代市社会福祉協議会と災害時パートナーシップ協定を締結し、地元で活動するラグビーチームとして、有事の際に役に立てるよう、また平時も地域と連携して防災活動等に取り組むとしています。八千代RCは、50数社が集まっており、尚且つ地元企業でありますので、その力で出来る範囲での活動をして、パートナーシップを結び、八千代市に貢献できればと考え、提案いたしました。

次に、パートナーシップ協定の内容について説明しますので資料をご覧ください。

災害時パートナーシップ協定とは。大規模災害が発生した際、また災害が発生すると予想される場合、八千代市社会福祉協議会・ボランティアセンターでは「災害ボランティアセンター(災害VC)」を設置します。そこで、各種団体や学校と可能な限り連携・協働し被災者支援活動を行うため「災害時パートナーシップ協定」を締結しています。この協定が結ばれることで、災害時はもちろんのこと、平時におい

ても住民同士の支えあい活動も充実し、住み良いまちづくりの構築にも寄与するものと考えます。

『世の中を変えるのは、部外者(よそ者)、若者、バカ者である。』とよく言われるが、私には、ちょっと異論があり、世の中だと少し広すぎるので、地域社会を変えるとするならば..

部外者(よそ者)は、その地域の伝統や特性にあまり精通していないため、地域に対応した対策が上手くとれません。他地域の成功例を持ち込もうとして、しばしば地域住民と軋轢を起こす場合があります。若者は、経験値や思考力が浅いため、熱意はあるが全体を把握し統率する能力に欠け、バカ者は、文字通りバカな考え方しかなく、役に立たない。となります。

部外者(よそ者)は、事を成すきっかけやアドバイスは出来ても、事が成就しなかった時は、責任を取らずその場から立ち去ってしまうものです。では、地域社会を変える事の出来る者は、如何なる者たちなのでしょうか?それは、その地域社会に育った土着の者しかいないのではないかと、最近考えようになりました。自分たちが生まれ育った、そして、其処で一生涯を過ごす覚悟のある者が、奮起して行動してこそ、地域社会を時代に合わせて変えて行き、より良い『故郷(ふるさと)』を次代に引き継ぐ事が出来るのではないかと思うのです。変革や改革と言うと、「そこに無いまったく新しい事」をと、考えがちですが、これが誤りの元ではないでしょうか、と思う次第です。「自分たちに無いものを」と考えるから、既存の成功例や既に他団体の行っている運動、行事におんぶに抱っこの相乗りをしようと、安易に考えがちです。直ぐ役立つ便法や借り物は、直ぐに役立たなくなるのです。それでは、独自性や主体性や継続性が無いため、詰まり、地域社会に根付かないような気がするのです。今は「無いもの」について考える時ではなく、「今有るもの」で、何が出来るか考える時なのではないでしょうか。自分の職業(生き方)や体力を基にして、出来る事は何かを問うてみて、無理しない範囲で他者の為に出来る事をすれば良いのではないかと思います。世の中一人で成り立っているわけではないのだから、一人一人の総合力が物言うと信じたいのです。現時点では八千代RCが先鞭をとってはどうでしょうか。市の職員や、社会福祉協議会の職員だけでは人が足りていません。我々が、参加する事によって、何かあった時に、我が八千代RCが貢献する事が出来れば大きなインパクトを与える事ができるのではないかでしょうか。資料の「平時ににおける取組」をご

覽下さい。市内の小中学校を中心に開催される防災寺子屋では、避難所運営ゲーム、災害図上訓練、避難行動要支援者との交流などが行われています。我がクラブには専門的な知識を持った会員が沢山おられます。例えば、水道業者の方なら、災害時にこういう事をすれば比較的早く復旧できるのではないか、とか建設業の方、運送業の方ならではの知識をレクチャーする事ができれば非常に助かるそうです。消防団は民間の組織ですが、地域の若者が対応するという活動を行っている様に、我が八千代RCの50数社の人間が出来る形で、出来る範囲で行動するという事でパートナーシップを結んで頂ければと思っております。

資料にあります様に、協定は基本的には4つの項目があります。

- ・被災地の状況とニーズの把握
- ・被災地における瓦礫の撤去などの労力を伴う支援
- ・物資等の調達及び仕分け、輸送の協力
- ・避難所をはじめとする被災者へのこころの支援

21世紀は自然災害の世紀と言われています。地球温暖化の影響か大型台風の発生、大雨特別警報の発令による河川の氾濫や山崩れや土石流の被害、そして相次ぐ地震の頻発と震災被害など、自然災害の脅威に晒されています。阪神淡路地震や東日本大震災以来、自然災害の被害に対して地域を守る不断の備えが、叫ばれて久しい。部外者(よそ者)である私も、八千代市に住んで早36年余を数える新住民であるが、この地を第二の故郷と思うようになりました。「変えるにはリスクを伴う。変えなければもっと大きなリスクを伴う。」と宇宙飛行士のジョン・ヤングは述べています。「60点主義で即決せよ。決断はタイムリーになせ。」と土光敏夫氏も述べています。人々の五分の一は、どんな提案にも反対するものだ。と言われるように、言い出しつつはサント・バッケになる覚悟が必要なのかも知れません。事を遂げる者は愚直でなければならないのかもしれません、ましてや、先走ってもなかなか上手くいかないものであります。志ある者が、行動を起こす時は素早く、道は近くとも行かなければ到達しないように、事は小さくとも己れの判断

近隣クラブ例会日

例会場
四街道R.C
八千代中央R.C
習志野R.C
佐倉中央R.C
佐倉R.C
習志野中央R.C

例会場

四街道ゴルフクラブ
ウィッシュトンホテル・ユカリ
習志野商工会議所会館
第1ウィッシュトンホテル・ユカリ第3夜間オルベート
フランス料理 シェ・ムラ
習志野商工会議所会館

- クラブ広報委員会 委員長:稻山雅治 副委員長:浅野正幸 委員:山崎克巳 久土地剛
- 出席委員長 日下部良夫 ※欠席の際は必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい
- 例会日 金曜日 12:30~13:30
- 例会場 パッソ・ノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F FAX047-450-0050)

で事を行わなければ成ししません。だから、其が無償の共助の原点であると共にボランティアと言うものなのかもしれません。災害には人的災害(戦争)もあるから恐ろしく、「ウクライナは自分たちの故郷である。故郷は自分たちで守る」爆破された建物の残骸を、戦禍の中できさえ、自分たちの手で一生懸命片付けている気概を見せられるにつけ、人間にとて故郷とはなんと大切なものであるかを考えないわけにはいきません。「住まいの在る所が故郷なのではない。理解してもらえる所こそ故郷なのだ。」と、思うものですから。

~ニコニコ BOX~

¥41,000-

☆災害時パートナーシップ協定の件、
よろしくお願ひ致します。

江頭・遠藤・中村・稻山・朝戸・大中・日下部
佐々木・佐久間

☆父の葬儀に際し、お心遣い頂き

ありがとうございました。鈴木

☆ウクライナ支援コンサート 5/22(日)八千代市市民会館で開催、よろしくお願ひ致します。杉山

☆ウクライナ支援、積もれば山となります。映画
ひまわり(入場料 1000円)を見ましょう。杉

☆寒い!! 渡邊

☆卓話ではご迷惑を掛けました。 小村

☆アメリカに行きました。マスクしていませんでした。日本も早くマスクとれるといいです。江口

☆親睦ゴルフ多数のご参加

ありがとうございました。菊川・中島貞好

☆久々の親睦ゴルフ優勝しました。君塚欣哉

☆先週休みました。君塚桂一・浅野正幸

~友愛 BOX~

¥38,000-

☆4月10日で84歳になりました。 及川
☆結婚記念日のお祝いありがとうございます

43回目です。もう一息です。 斎藤敏夫

☆ありがとうございます。21回目です。田村

☆いつの間にか46年我慢しました。 寺沢

☆39回目の結婚記念日を

無事に迎える事が来ました。 佐野

☆結婚記念日の旅行は八丈島でした。小村

☆結婚38年になりました。 齊藤昌宏

☆4/10妻にお花有難うございました。 中村

☆橋本さんよろしくお願ひ致します。

山浦・浅野正敏・栗原・宮野

☆寒いです。 池田

☆本日欠席。 三井

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
4/15	53	47	43	91.49

4月のロータリーレート 1ドル ¥ 122-